新美南吉

かなしきときは

鳴らそ。

二つ合わせてきをこめて。

静かに鳴らそ、

貝がらを。

誰もそのを

－１－

きかずとも、

風にかなしく消ゆるとも、

せめてじぶんを

あたためん。

静かに鳴らそ

を。